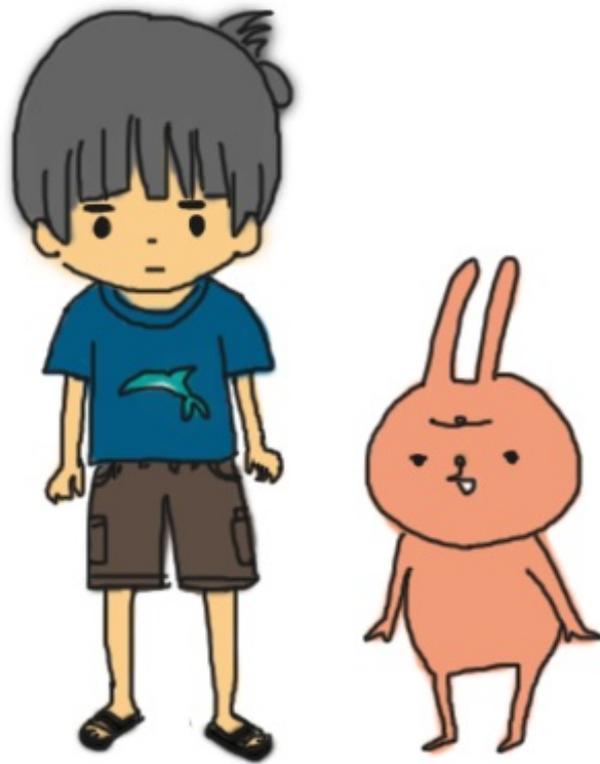


あね記



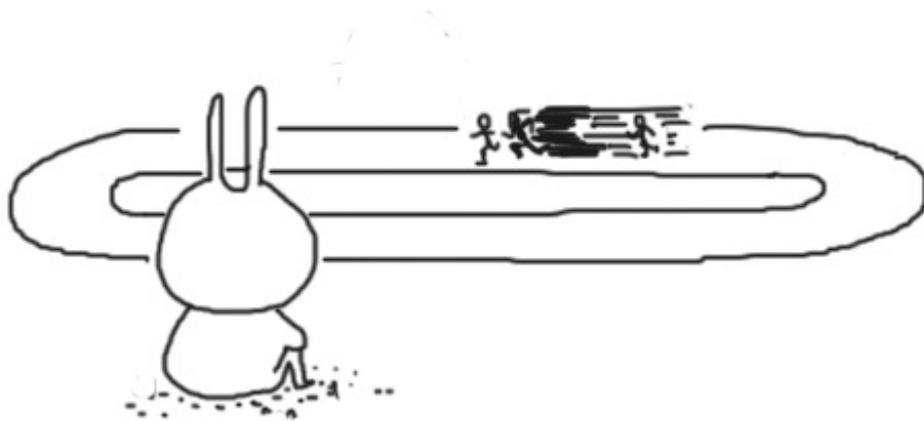
走る

姉は走るのがとても速い。
運動会では毎回リレーの選手に選ばれていた。
本気で走って追いかけると結構怖い。



運動会では裸足で走っていた記憶がある。

私は短距離走が苦手だ。
運動会は好きだが、徒競走の時間になると憂鬱になる。
みんな本番に転ばないかな、とばかり考えていた。



地面を蹴って走るのがコツだと姉に言われたがそんな器用な真似は出来ない。

姉に自ら教えてくれと頼むのは悔しいので
ずっと観察をしていた。
腕を振らなくちゃいけない理由がわからない。



首を振りながら走るメリットも何かあったのだろうか。

よく映画館に行った。
映画のチラシを姉がよく集めるので、私も欲しくなって一応手を取る。
しかし家に帰ると紛失するかカバンの底にクシャっとなっている。



姉は即ファイリングする。

映画 2

コレクションを勝手に覗いてみた。

普通のポケット式クリアファイルやらリングファイルやらスクラップブックに収められていた。

小学生の頃から始めて、きっと現在も集めているのだろう。



どうするんだろうあれ。

映画 3

スターウォーズは流行った。

リモコンで動くR2-D2とか、手乗りR2-D2とか、ヨーダのマスコットとかを姉が集めていた。
しよっちゅうイオークがぶら下がってるとこの真似をして遊んでいた気がする。



チューバッカの声もまだ出来る気がする。

姉は手先が器用だ。

帰省する時もビーズやらなにやら入った手芸セットを持参してくる。

数種類のビーズを小分けのケースに入れたり紐やテグスや金具がたくさん入っている。



よくテレビを見ながら手元で何か作っている。

手芸 2

主にアクセサリー類やストラップを作っている。
一時期トカゲ作りにはまって大量生産していた。
立体で、腹の色を変えたり、ネックレスにしたりと芸が細かい。



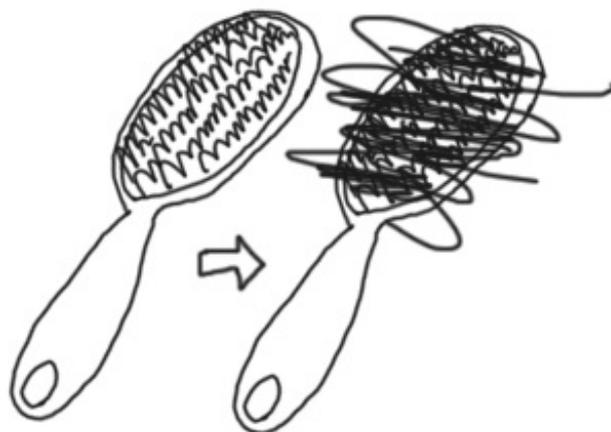
ネックレスをつけると妙にリアルで気持ちが悪い。

姉の誕生日プレゼントに何がいいか聞いた時、
「指輪のサイズが測れる道具」
というリクエストを受けた。



少し悲しかった。

姉に対する不満。
「使った後のヘアブラシが酷い」
髪が長いからだろうか



ブラシがもはや毛の塊

姉に対する不満 2

「風呂のマットがびしょびしょ」
なんでこんなにびしょびしょ。



足の裏の水分だけ落としてくれ。

小説から漫画まで、至る所に本が散乱する我が家。
姉妹間はわりと好みのツボが同じなので本の貸し借りをする。
姉がはまっている漫画を借りた。



私をはまる。

面白くて続きが気になる。
本屋へ行くと新刊があったのでつい買ってしまった。
どうやら先に読んだのがいけなかったのか。



なんだかものすごく怒られた。

私はチョコレートが好きだ。
姉もチョコレートが好きだろう。
ケーキがあると姉は、「好きなほう取っていいよ」と言う。

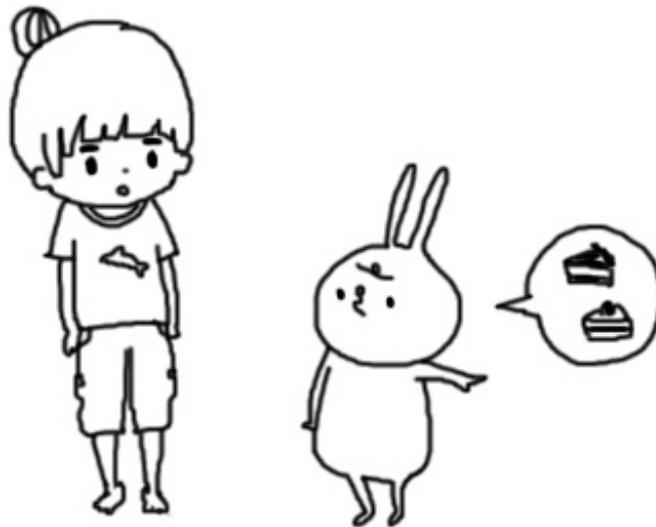


私は迷わずチョコレートを選ぶ。

姉も本当はチョコレートの方が食べたいのかもしれない。

我慢して譲っているのだろうか。

今度は私が、「どっちでもいい」と言う。



姉は少し悩んでチョコレートを選ぶ。

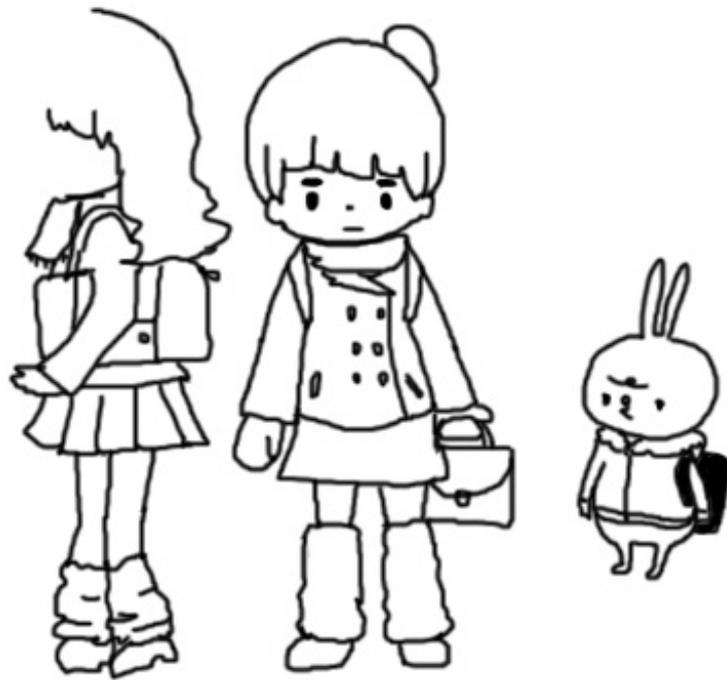
やっぱり姉もチョコレートが好きなのだろう。
姉が、「好きなほう取っていいよ」と言い、
私が「どっちでもいい」と言う。



姉は先にチョコレートじゃないほうを選ぶ。

ルーズソックス

高校時代姉はルーズソックスを履いていた。
流行に興味が無いと思っていたが、ちゃんと女子高生なのだと感心した。
秋と冬しか履かない姉のルーズソックスは、



だいぶ上まで上がっていた。